

結 果 報 告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月26日 (金)	試合番号	3-2	回戦	3回戦
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC ・ 愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
琉球コラソン			湧永製薬		
得点合計	小計		小計	得点合計	
32	14	前半	12	25	
	18	後半	13		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 富田 伊久磨

大会3日目の第2試合は琉球コラソンと湧永製薬の対戦。琉球コラソンのスローオフで試合開始。琉球コラソン・21番連の速攻で幕を開けると、19番内山の速攻と2連取、対する湧永製薬は11番樋口、2番谷村のシュートで、すかさず同点に追いつく。序盤流れをつかんだのは琉球コラソン、33番東長濱、1番棚原の活躍で3連取すると、湧永製薬はたまたまタイムアウトを要求。タイムアウト後、湧永製薬は2番谷村らの3連続得点で1点差に追いつく。相手に流れが傾きかけた琉球コラソンは、積極的なDFからの速攻で点差を引き離しにかかったが、数あるノーマークのチャンスを湧永製薬GK1番志水の好セーブに阻まれ流れをつかむことができない。このまま一進一退の攻防を繰り広げ、前半を14対12の琉球コラソン2点リードで折り返した。

後半戦立ち上がり、両チームとも前半に引き続き一進一退の攻防が繰り広げられ、後半15分過ぎまで琉球コラソン2点リードは変わらず。後半19分琉球コラソン1番棚原のシュートで後半戦最大の4点差がついたところで、湧永製薬はタイムアウトを要求。タイムアウト後、琉球コラソン21番連がシュートに絡み2分間退場してしまう。しかし、湧永製薬はこの好機を生かせず点差を詰めることができない。1人退場というピンチをしのぎ切った琉球コラソンは、23番水野のサイドシュートを皮切りに、5連続得点で勝負を決める。琉球コラソンは32対25で勝利、準決勝へと駒を進めた。